

ピカッと・カチッと大作戦

“ピカッ”と光ってセーフティ! “カチッ”と締めてセーフティ!

県交通安全協会と県警察本部では、例年、日没時間が早まる秋から年末にかけて、高齢歩行者が犠牲となる交通事故が多発することから、秋の全国交通安全運動に合わせて、夜光反射材着用やライト早め点灯及び原則上向きライト走行を促進する「“ピカッ”と光ってセーフティ」、シートベルトやチャイルドシートの正しい着用を促進する「“カチッ”と締めてセーフティ」を2本柱とした「ピカッと・カチッと大作戦」を実施します。

県交通安全協会では、チラシ5万枚、反射材シール等5万枚を作成して、地区交通安全協会に配付し交通事故防止のための広報啓発を実施します。

また、昨年に引き続き、県協会で作成した中吊りポスターを県内の路線バス会社3社及び飯坂電車に掲示するほか、福島交通バスの車内放送による広報啓発を実施します。県警本部の大高新一交通部長と県交通安全協会佐藤正人専務理事は9月15日県警本部庁舎で記者会見して事業概要を説明しました。

今年からセキスイハイム東北(株)福島支店の協賛を得て運動を展開することとなり、会見には同社高橋好仙福島営業所長が同席されました。



左から大高交通部長、佐藤専務理事、高橋営業所長、伊藤優交通企画課長